

技術審査証明のない深層改良工法の施工結果報告書

提出日	年 月 日			
事業主	住所			
	氏名			
設計者	住所			
	資格	() 級建築士事務所(大臣・知事) 登録第 号	(電話)	
	事務所名			
	設計者資格	() 級建築士 (大臣・知事) 登録第 号	印	
工事施工者	住所			
	資格	建設業の許可(大臣・知事) 登録第 号	(電話)	
		会社名 代表者名 印		
工事概要	工事名称			
	許可番号	年 月 日 第 号 当初許可番号 (第 号)		
	建築場所			
	構造	造		
深層改良工事概要	工法名			
	適用工作物	(擁壁高さは5m以下とする)		
	設計基準強度	kN/m ²	改良対象土	
	使用固化材	固化材配合量	Kg/m ³	
	施工サイクル	サイクル施工	コラム径	mm
	改良形式	杭 ・ 壁 ・ ブロック ・ ()		形式
	支持層深さ	m	最大改良長	m(5m以下)
施工管理項目		管理値	チェック結果	別添資料
1. 改良対象土の調査(酸性土地盤、腐植土層などコラム強度に影響するもの、玉石等施行障害なるものの有無。)			適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
2. 地下水の水位・水質等(湧水がない等の施行に影響しないことの確認)			適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
3. コラム芯位置		所定位置土 [mm]以内	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
4. 攪拌翼の径		施行コラム径 [mm]以上	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
5. 共回り防止機能(共回り防止翼の動作確認等)			適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
6. 施工機械の鉛直		/ 以下	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
7. 納品伝票(使用固化材の確認、目視による鮮度確認等)		/	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
8. スラリー吐出量		[ℓ/分]以上	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
9. スラリー総吐出量(スラリー吐出量、貫入速度より算定した値を管理値としてください。)		[ℓ]以上	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
10. 貫入速度		[m/分]以下	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
11. 引き上げ速度		[m/分]以下	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
12. 軸回転数		[回/分]以上	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
13. 羽根切り回数		[回/m]以上	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
14. 先端翼の位置(コラムの深度を支持層の確認とともに管理してください。)		支持層到達位置以上	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>
15. 支持層到達の確認(電流計、トルク計等による確認)		/	適 ・ 不	<input type="checkbox"/>

指示記録

項目番号	指示内容	対応記録

深層改良工事に対する考察

改良体の品質検査

対象計画	○施工計画が以下の全ての項目に該当する場合は品質検査対象を「検査対象1」に掲げるものとする ・改良長 5m以下 ・適用する擁壁高さ 3m以下 ・改良率 80%以上		○施工計画が以下の全ての項目に該当する場合は品質検査対象を検査対象は「検査対象2」に掲げるものとする。 ・改良長 5m以下 ・適用する擁壁高さ 5m以下 ただし、左の欄に掲げる項目全てに該当する場合は検査の対象を「検査対象1」とすることができる。	
	検査対象1		検査対象2	
品質検査項目	○検査ロット 100 コラムごとに以下の検査結果を報告してください。		○検査ロット 100 コラムごとに以下の検査結果を報告してください。	
	・ 頭部コア 検査ロットごとに3ヶ所かつ1ヶ所につき3個以上としてください。	個	・ 頭部コア 検査ロットごとに3ヶ所かつ1ヶ所につき3個以上としてください。	個
			・ 深度コア 検査ロットごとに3ヶ所かつ1ヶ所につき3個以上としてください。	個
			○検査ロット 300 コラムごとに以下の検査結果を報告してください。(施工コラム数が300未満の場合は不要)	
			・ 連続コア採取	個
			・ 改良率確認	%
		・ 改良率確認フェノールフタレインチェック	適・不適	

※記入方法については「技術審査証明のない深層改良工法の施工結果報告書」の記入要領をご参照ください。

※この書式は「技術審査証明のない深層改良工法の施工結果報告書」です。技術審査証明を取得している工法については技術審査証明報告書に基づき施工結果を報告してください。

「技術審査証明のない深層改良工法の施工結果報告書」 記入要領

○以下の各項目の記入要領にしたがって「技術審査証明のない深層改良工法の施工結果報告書」に記載してください。

【技術審査証明のない深層改良工法の施工結果報告書 表面】

提出日

担当窓口への提出年月日を記入してください。

事業主

住所 事業主の住所を記入してください。

氏名 事業主の氏名または法人名を記入してください。法人名の場合は代表者名も記入してください。

設計者

住所 設計事務所の住所を記入してください。

資格 設計事務所の登録番号を記入してください。

事務所名 設計事務所名を記入してください。

設計者資格 設計者の登録番号を記入してください。

氏名 設計者氏名を記入してください。

工事施工者

住所 施工会社の住所を記入してください。

資格 建設業の許可の登録番号を記入してください。

会社名 施工会社名及び代表社名を記入してください。

工事概要

工事名称 施工場所における工事名称を記入してください。

許可番号 取得した開発許可番号または宅地造成許可番号を記入してください。変更許可を受けている場合

は当初許可番号を（）内に記入し上段に変更許可取得年月日及び変更許可番号を記入してください。

建築場所 開発または宅地造成の申請区域を記入してください。

構造 予定建築物の構造を記入してください。

深層改良工法工事概要

工法名 工法名を記入してください。

適用工作物 地盤改良が適用される工作物のタイプ及び高さを記入してください。

記入例 RC-L 型擁壁 3.0m タイプ

設計基準強度 設計基準強度を記入してください。

改良対象土 改良対象土層を記入してください。

使用固化材 使用固化材名を記入してください。

固化材配合量 使用する固化材の配合量を記入してください。

施工サイクル 表層から支持層まで貫入し、再度表層まで引き上げるまでを1サイクル(改良体先端部の処理に伴う貫入、引き上げを除く)として記入してください。

記入例 1サイクル施工

コラム径 改良体の施工径を記入してください。

改良形式 該当する形式に○をつけてください。その他の形式の場合は()内に記入してください。

支持層深さ 施工位置での表層からの支持層深さを記入してください。

最大改良長 改良体の最大改良長を記入してください。ただし最大改良長は5 m以下とする。

管理値

各「施工管理項目」についての管理値を記入してください。

空欄部については施工管理項目の管理値を適宜記入してください。

施工管理項目1. の場合の記入例 ボーリング調査により確認

施工管理項目2. の場合の記入例 目視により湧水が無い事を確認

チェック結果

各「施工管理項目」における「管理値」を満たしている場合は「適」に○をし、適合していない場合は「不」に○をしてください。

別添資料

施工データ等の添付資料がある場合は□内にレを記入してください。また添付資料は本報告書に添付してください。

【技術審査証明のない深層改良工法の施工結果報告書 ウラ面】

指示記録・対応記録

工事監理者等から指摘を受けている場合は指摘内容を記入し、対応記録を記載してください。

深層改良工事に対する考察

施行要領どおりに施行されたか等を工事に対する考察として記入してください。

改良体の品質検査

該当する「検査対象」の項目に記入してください。

記入例 改良長5 m、適用する擁壁高さ4 m、コラム数600 の場合

検査対象2	
○検査ロット100 コラムごとに以下の検査結果を報告してください。	
・頭部コア 検査ロットごとに3ヶ所かつ1ヶ所につき3個以上としてください。	54 個
・深度コア 検査ロットごとに3ヶ所かつ1ヶ所につき3個以上としてください。	54 個
○検査ロット300 コラムごとに以下の検査結果を報告してください。(施工コラム数が300 以下の場合不要)	
・連続コア採取	2 個
・改良率確認	50 %
・改良率確認フェノールフタレインチェック	○ 不適